

実施年度	: 2024 (2025 入試) 年度
試験日	: 2024 年 11 月 9 日
入試種別	: 外国人留学生 3 年次編転入学試験問題
学部・研究科	: 文学部 全学科・専攻共通
科目名	: 英語

【解答又は解答例】

1

(1) (解答のポイント)

下線部「私は、事実上、21 世紀の間中眠り続けていることになる」とは、どういう意味かを考える。出典欄からこの文章の出版年が 2019 年、つまり、筆者がこの文章を書いている時点では、21 世紀になって 20 年経っていることになる。下線部の前文 2 文には、人間は生活の 1/3 を睡眠に費やしていること、筆者が 66 歳であることが書かれている。つまり、この文章が書かれた時点で、筆者は、人生の 22 年間分を睡眠に費やしていたことが分かり、20 年 (21 世紀になってからの年数) と彼の睡眠時間がほぼ同じだというのが下線部の文意である。

(2)

②睡眠の恩恵を受けない、または睡眠不足によって損なわれない身体の部位は存在しない。

④私たちは眠っているあいだ外の世界から切り離されているだけではなく、ほとんどの時間、実際に麻痺した状態にある。

(3) (解答のポイント)

下線部の文章の後半部分 ‘a significant improvement in their blood pressure readings’ の部分と ‘It would seem to be…’ で始まる次の文章の内容が該当する。

(4) (解答のポイント)

‘Hibernating’ で始まる下線部の次の 2 文が「睡眠 (sleep)」との違いを説明しているので、この部分を要約または訳すことにより、設問で問われている睡眠との違いが説

明できる。

(5) (解答のポイント)

‘Real hibernation…’で始まる次の2文に、「本物の睡眠」はどのようなもので(1文目)とクマの睡眠はどのようなものか(2文目)が書かれているので、その部分を説明する。

2 (採点のポイント)

質問文を正しく理解し、自分の考えを日本語で表現できるか評価する。

3 (採点のポイント)

基本的な文法事項を用い、問いに対し自分の考えを表現する英語運用能力を評価する。